

まちを彩る 人を彩る

「いつもと同じ電車に乗って行き、いつも同じ電車に乗って帰る。
いつもと同じ道を歩き、いつも同じお店で買い物をする。
そんな日常に、彩りを添える。」

■ concept

私たちは、“住民参加のプロムナード作り”を提案します。“いつもと同じ”が繰り返される日常において、“新鮮な出会い”や“新たな発見”を得られる“プロムナード”を計画します。そのために、日常空間とは離れた場所で活動している品川区内の豊富な団体・サークル(*1)や、市を開けるほどの個人の趣味活動の集まり(*2)を“貸しスペース”を使って、プロムナードに設置します。

・(*1) 品川区内の豊富な講座・教室・スポーツ

福祉 生活
 青少年の育成 教養 子育て
 健康・スポーツ 文化・芸術

品川区内には、合計 228 の事業がある

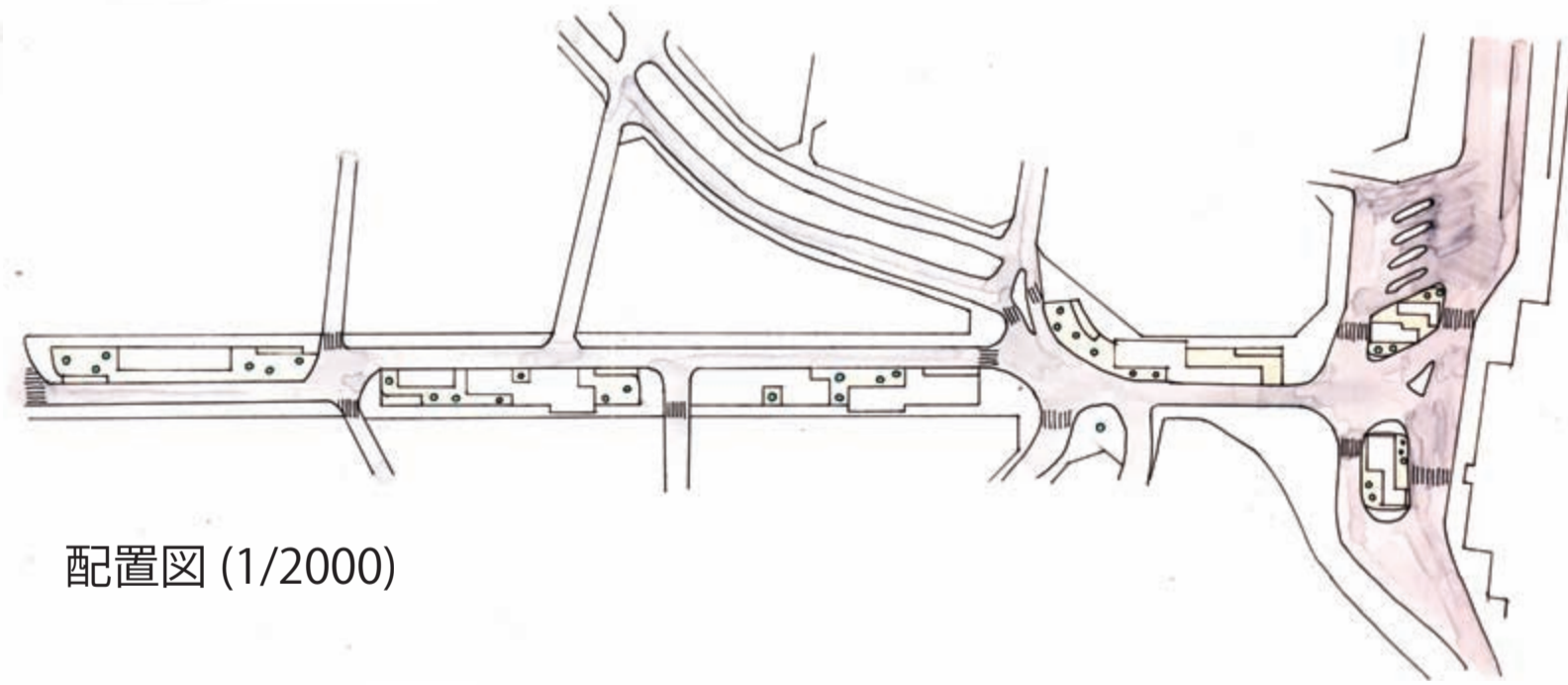
・(*2) “市民参加型の市場”を成功させる土壌がある

cf “大井競馬場フリーマーケット” ほぼ毎週土日開催

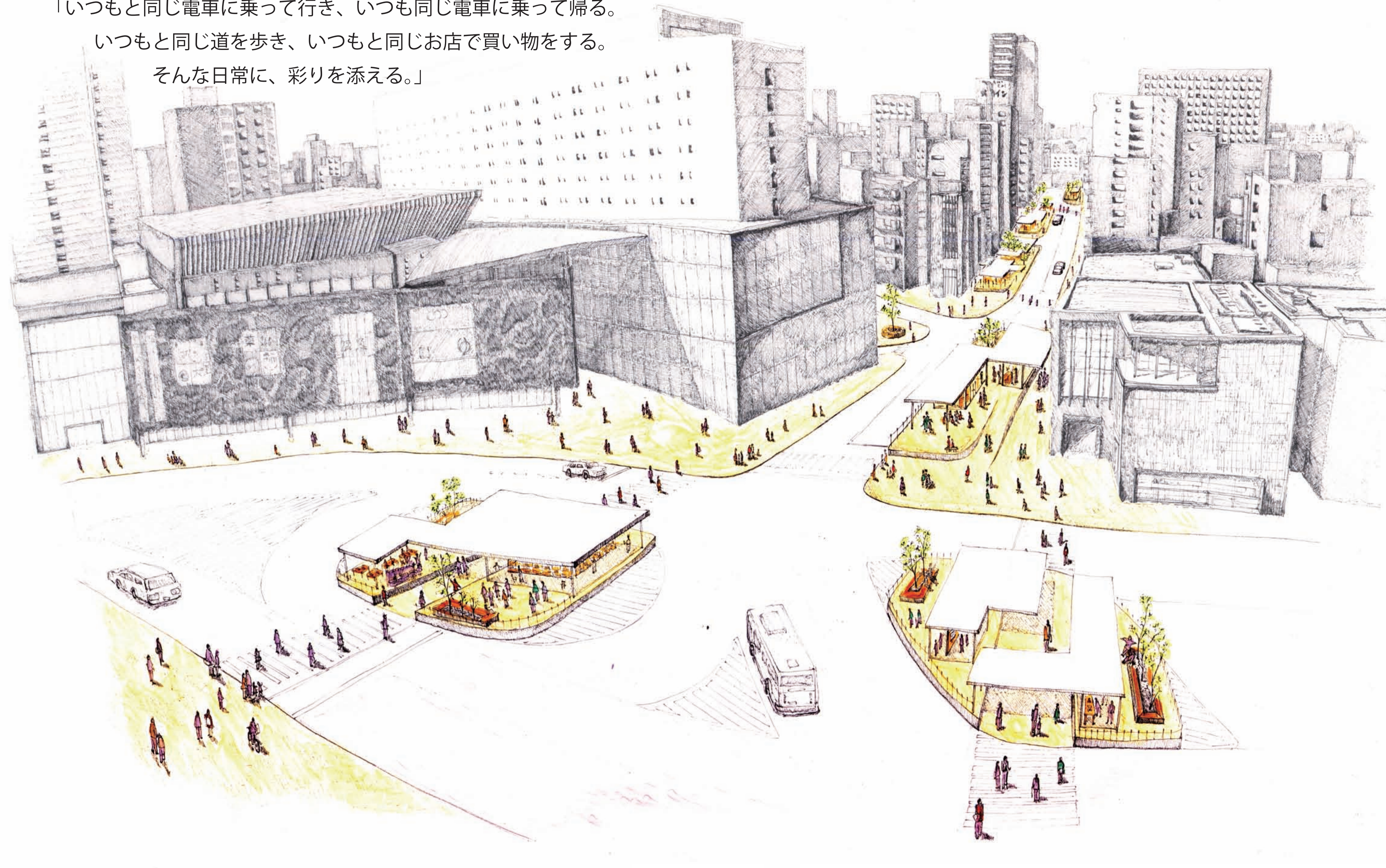
場所：大井競馬場駐車場

cf “品川手づくり市” 毎月第2日曜開催 場所：品川神社

(2009年1月に始まり、2012年3月11日終了)



配置図 (1/2000)



■ idea< “貸しスペース” と空間構成 >

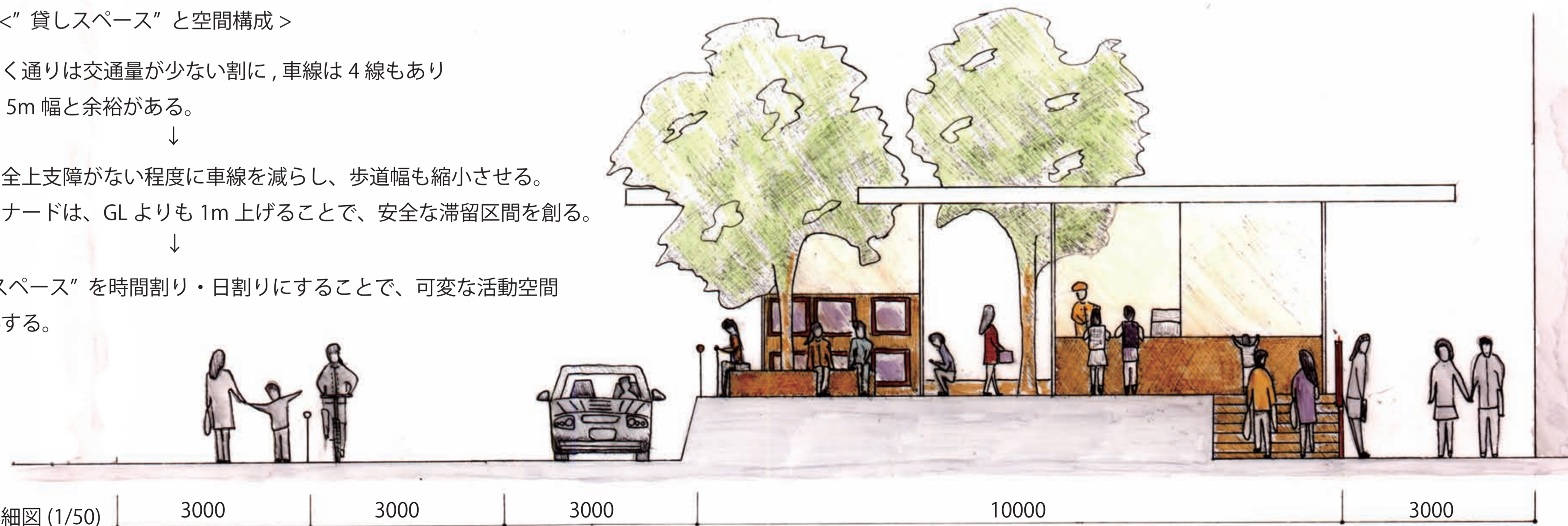
どんたく通りは交通量が少ない割に、車線は4線もあり歩道も5m幅と余裕がある。



交通安全上支障がない程度に車線を減らし、歩道幅も縮小させる。プロムナードは、GLよりも1m上げることで、安全な滞留区間を創る。



“貸しスペース”を時間割り・日割りにするすることで、可変な活動空間を提供する。



断面詳細図 (1/50)

3000

3000

3000

10000

3000



ありふれた日常も、、、

まちを彩り、人を彩る

～人があつまる大井町駅前中央通りアイデアコンペ～

提案要旨説明書

■作品タイトル

まちを彩る 人を彩る

■提案要旨

“いつもと同じ”が繰り返される日常において、“新鮮な出会い”や“新たな発見”の欠如
活動団体・サークル、個人活動のための新たな“場”の必要性

↓ <課題を克服するための必要要素>

- ・駅ビルや駅周辺の大衆商業施設では、提供できない機能
- ・わくわくさせるような、楽しくなるようなプロムナード
- ・回帰性のある場
- ・スペースの貸し借りを通じて、活動したり、展示したりして、各々の“いろ”を共有できる空間

↓ <提案のconcept>

“まちを彩る 人を彩る”プロムナード

↓ <具体的な空間の工夫>

- ・“日常動線”から“プロムナード”へと続く緩やかなスロープを設置することで、流動的にひとが流れるようにした。
- ・“貸しスペース・ブース”を、“プロムナード”上に不規則に配置し、また内部機能を可変にすることで“新鮮な出会い”や“新たな発見”を可能にした。
- ・GLより1m上げることにより、車が侵入してこない安全な滞留区間を創った。

※なぜこのような提案としたのかという理由や、特に工夫した点、アピールしたい点などを自由に記載してください。